



平成30年11月9日  
海上保安庁

## JICA 研修員が、海上保安庁測量船による沖合いの測量を体験します ～最新の海洋調査技術の習得～

海図作製のための水路測量技術の習得を目的として来日している4カ国6名の独立行政法人国際協力機構（JICA）研修員は、11月19日及び20日の2日間、駿河湾において海上保安庁所属の測量船「明洋」に乗船し、沖合における測量をはじめとした最新の海洋調査技術の習得を目指します。

海図作製のための水路測量技術の習得のため、各国の関係機関の水路測量技術者（4カ国6名）が、本年6月下旬から来日し、JICAと海上保安庁が協力して実施している研修に参加しています。今回、測量船に搭載された最新の海洋調査機器の操作方法やデータ処理方法の習得を目的とし、11月19日及び20日の2日間、駿河湾において海上保安庁所属の測量船「明洋」による乗船実習を実施します。

### ○実習日程及び内容（予定※）

- ◆11月19日（月）12:30～15:30（清水港に停泊したまま実習を実施）
  - ・乗船式（岸壁もしくは着岸中の船内で実施、取材可）
  - ・観測機器等の投入操作や、船に持ち込む観測機器の固定方法（ロープワーク）等の実習（着岸中の船内で実施、取材可）
- ◆11月20日（火）09:00～15:30（9:45頃清水港出港、15:00頃帰港）
  - ・水深データの取得等の実習（航海中の船内にて実施、取材不可）
  - ・下船式（岸壁もしくは着岸中の船内で実施、取材可）

※ 天候等の理由で実習内容を変更することがあります。

### ○今年度の研修員（4カ国6名）

インドネシア3名、ミャンマー1名、パプアニューギニア1名、フィリピン1名  
※研修全体の概要については、6月22日広報資料（別添）を参照。

### ○取材申し込み

11月20日（火）の航海中の時間帯を除き、停泊した測量船内外での取材が可能です。取材を希望される方は、別紙申込書に必要事項を記載の上、11月14日（水）までに記載の宛先に送付をお願いします。

○測量船「明洋」停泊場所（出入港場所）

- ・清水港（静岡県静岡市清水区）

○実習予定場所（駿河湾）



○過去の实習風景



乗船式の様子



ロープワークについて指導を受ける研修員



観測機器投入作業について説明を受ける研修員

(別紙)

(申し込み先)

海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室 あて

**FAX : 03-3595-3626**

TEL : 03-3595-3605

## JICA 研修 乗船実習 取材申込書

<b>勤務先・所属</b>		
<b>氏名 (複数可)</b>		
<b>連絡先</b> (携帯電話等)		
<b>取材希望時間帯</b>  取材を希望される時間帯について、右端の空欄にチェックを入れてください。(複数選択可)  <u>※天候等の理由により、予定が変更になることがあります。</u>	<b>乗船式</b> <u>11月19日12時30分頃*</u>	
	<b>実習</b> <u>11月19日13時~15時30分頃*</u>	
	<b>下船式</b> <u>11月20日15時頃*</u>	



問い合わせ先  
 海上保安庁海洋情報部技術・国際課  
 海洋情報渉外官 金田 謙太郎  
 電話 03-3595-3605

平成30年6月22日  
 海上保安庁

## JICA 課題別研修(水路測量技術者養成の国際認定コース)開講について

### ～ 国際資格を取得できる唯一の JICA 研修 ～

海上保安庁では、平成30年6月24日～12月8日の間、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした海図作製能力向上のための研修を開催します。

本研修は、国際的な資格を取得できる唯一のJICA研修で、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。修了生の多くは世界各国の水路当局の幹部として活躍しています。

海上保安庁は、本研修を通じ開発途上国の海図作製能力を向上させることで、世界の航海安全に貢献しています。

#### 1 日 程

平成30年6月24日(日)～12月8日(土) (詳細は別紙参照)

#### 2 研修参加予定者(4カ国6名)

インドネシア3名、ミャンマー1名、パプアニューギニア1名、フィリピン1名

※ 本研修は、昭和46年から毎年実施しており、今年で48回目の開催となります。これまでに44ヶ国から430名の修了生を輩出し、開発途上国の能力向上に貢献しています。また、修了生の多くがタイ、フィリピン、マレーシアなど各国水路当局で要職を務めており、地域内・地域間の国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています(別紙参照)。

#### 3 主なカリキュラム

- (1) 海図作製に必要な理論及び実務に関する講義(測地学、潮汐、水深測量等)
- (2) 海図作製に必要なデータ収集のための港湾測量実習(大分県別府港)
- (3) 海上保安庁測量船による洋上実習(駿河湾) \*乗船取材可

#### 4 取材申し込み

各種実習を含め、研修期間中随時取材を受け付けております。別紙のスケジュールをご参照いただき、取材を希望される場合は、下記までご連絡下さい。

海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室 電話：03-3595-3605

ファックス：03-3595-3627

## ○主な研修スケジュール（予定）

実施予定日	実施予定場所	内容
6月28日（木）	海上保安庁海洋情報部	カントリーレポート発表会
9月25日（火）～10月26日（金）	大分県別府港	港湾測量実習
11月19日（月）～20日（火）	駿河湾	測量船による洋上実習
12月7日（金）	JICA 東京センター	閉講式

※上記以外の期間は、主に海図作製に必要な理論及び実務に関する講義を予定しています。

## 【参考】

## ○水路測量国際B級資格

各国の教育機関が実施する水路測量技術者養成コースに対し、水路測量等の国際基準を定める国際委員会 (IBSC) により認定される資格で、国際A級、国際B級の2つに分かれます。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としています。

(水路測量国際B級のコースは世界で26カ国30コースあります(平成30年5月時点)。)

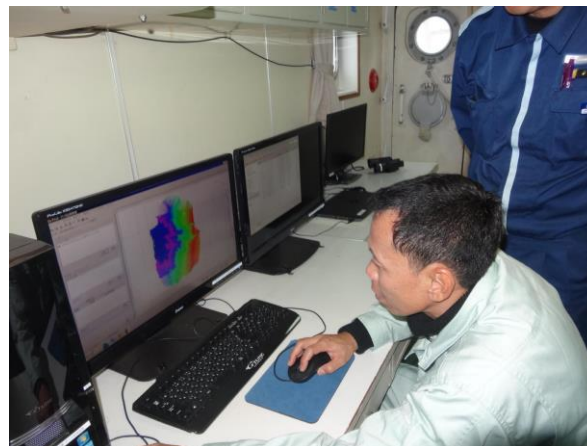
## ○本研修に参加した主な各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	元タイ水路部長
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	元タイ水路部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	元フィリピン水路部長
1987年	Rear Admiral Dato's Fadzilah Bin Mohd Salleh	元マレーシア水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	現フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaa'im bin Hasan	元マレーシア水路部長
1992年	First Admiral Hanafiah bin Hassan	現マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	元パキスタン水路部長
1998年	Mr. Justo Nicholas Lyamura	現タンザニア水路測量部長

## ○平成29年に実施した本研修の様子



測量中の船舶の誘導実習（別府港）



洋上での測量データ管理実習（測量船「海洋」）